

新潟県日赤有功会たより

寒冷の候、新潟県日赤有功会員のみなさまにおかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より本会の活動推進にあたり、格別なご理解とご協力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、「新潟県日赤有功会たより 2017-2 号」をお届けいたします。

今号は、各種有功会行事の実施報告などを中心としておりますので、ご一読いただけましたら、幸いと存じます。

林家こん平さん 笠井 咲さんをお迎えして

赤十字ハートフル講座を開催しました

去る 10 月 26 日（水）長岡赤十字病院講堂において、平成 28 年度の赤十字ハートフル講座が開催されました。この講座は、日本赤十字社新潟県支部と新潟県日赤有功会が毎年共催しており、赤十字をご支援くださる方々へ、赤十字の思いや取り組みをお伝えすることを目的としております。

今年の講座は、長岡市出身の落語家林家こん平さんと次女の笠井咲さんをお招きして講演いただきました。笠井さんは、多発性硬化症という難病と闘うお父様の介護にあたりながら、出産・育児を経験し、さらに現在は「一般社団法人林家こん平事務所代表理事」としてパワフルに活動されています。実経験からの具体的なお話に、約 120 人の参加者からも共感の声が聞かれていました。



講演する笠井咲さん



講演後、病院の小児科病棟で落語絵本の読み聞かせをしていただきました。

また、林家こん平さんもお元気な姿でステージに登場され、笠井さんと笑いを交えたトークを展開されていました。この日は、こん平さんのお弟子さんである林家ぼたんさんもお越しいただき、本場の落語をご披露くださいました。ぼたんさんは、今年の春に真打に昇進されており、こん平さんはお弟子さんの成長した姿を嬉しそうに見つめていました。



元気な姿でトークを展開するこん平さん



林家ぼたんさんの落語一席

「気づき、考え、実行する」子どもたちを育成するために

青少年赤十字トレーニングセンターへの支援

赤十字が保有する様々なリソースを活用した幅広い学習と活動の機会を生かして、学校教育の充実を図ることを目的として、新潟県内で220校（小・中学校・高校）が青少年赤十字に加盟登録しています。

新潟県日赤有功会では、この青少年赤十字活動の活性化に寄与するため、研修事業に対する支援を行っており、本年も各校のリーダーを養成する合宿型研修会「青少年赤十字リーダーシップトレーニングセンター」に対して、運営費の助成を行いました。

研修会は、7月～8月にかけて県内5地区において約400人の児童・生徒が参加して行われ、防災・減災をテーマとして、青少年赤十字防災教育プログラムを活用した実践的な研修が行われました。参加した児童・生徒は、災害からいのちを守るために、自らが主体的にどのような行動をとるのかを学び、各学校へ持ち帰りました。



新潟県日赤有功会は、今後も「気づき、考え、実行する」子どもたちの育成を支援していきます。

有功会としてさらなる支援に努めたい

～全国紺綬・有功会会長協議会 開催～

各都道府県の紺綬・有功会会長が一堂に会し、各会の活動状況等情報交換を行い、日本赤十字社の社業振興に寄与することを目的とした全国紺綬・有功会会長会議が、10月6日～7日京都市を会場に開催されました。

会長である千葉県赤十字有功会の安田会長は「頻発する自然災害に対する日赤の活動に、全国の有功会としてさらなる支援をしたい。赤十字への貢献を会を挙げて努めたい」と述べられました。

また、来賓として出席した近衛日赤社長は「国内の災害は局地化の傾向も示している。従来の応急対応から、防災・減災への取組みや復旧・復興支援事業等にも取り組み、災害からいのちを守る日本赤十字社の確立に努めたい」と訴えました。

本県からは、横瀬和夫会長と江口孝雄支部事務局長が出席しました。

日赤の創設者大給恒ゆかりの地を訪ねて

～有功会視察・研修旅行～

28年度有功会視察・研修旅行が、11月9日～10日に実施されました。今年は晩秋の信州を訪ね、NHK「真田丸」の大河ドラマ館がある上田城址、日赤の創設者大給恒ゆかりの佐久市龍岡城址を主たる目的地として、15名の参加者を得ての旅行となりました。出発地の新潟は、吹雪となる天候でしたが、長野県に入ると天候にも恵まれ、事故なく全行程を進めることができました。

特に龍岡城址では、地元ボランティアガイドさんの丁寧且つ中身の濃い講話により、大給恒が佐野常民とともに日赤を創設するまでの経緯等について、参加者一同十分理解し、感動の声が聞かれました。参加した横瀬会長も「このような意義のある旅行は、今後も継続していきたい」と話されていました。



龍岡城址にて
左：大給恒胸像
前にて
右：丁寧なガイ
ドの説明

米山隆一知事が支部長就任

10月24日付をもって退任された前支部長泉田裕彦氏の後任として、12月1日付で、米山隆一新潟県知事が支部長に就任いたしました。

【米山隆一支部長あいさつ】

このたび 12月1日付をもちまして日本赤十字社新潟県支部長に就任致しました。

もとより微力ではございますが 赤十字事業推進のため専心努力いたす所存でございまして 皆様方のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 28 年 12 月

日本赤十字社新潟県支部 支部長 米 山 隆 一

あとがき

今年もあと残すところわずかとなりました。振り返れば、熊本地震災害、台風 10 号等災害、鳥取地震災害など、今年も国内では災害が相次ぎました。被災された方々には、現在も不自由な生活を送られていることと思い、お見舞いを申し上げます。

日本赤十字社は、これら災害に対して、応急対応はもとより、復旧・復興に向けた被災者の方々への支援活動を継続しております。

有功会としても、これら活動の支えになるよう今後も努めていきたいと思っております。

会員のみなさまには、本年一年間大変お世話になりましたことに御礼を申し上げますとともに、来年もご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年末年始何かと気ぜわしい日々かと存じますが、ご自愛くださり、良いお年をお迎えください。

<新潟県日赤有功会事務局>

日本赤十字社新潟県支部 組織振興課内

〒951-8127 新潟市中央区関屋下川原町 1-3-12 Tel 025-231-3121

【幹 事】 組織振興課長 やつだけんご 谷田健吾

【事務局】 組織振興課 振興係長 村山浩一 主事 間嶋祐樹